



鈴木 英敬 三重県知事

作家 三浦 しをんさん

映画監督 矢口 史靖さん

津市長 前葉 泰幸

1月31日、三重県首都圏営業拠点「三重テラス」で、映画「WOOD JOB! (ウッジョブ!)」～神去なあなあ日常～の5月10日公開を前に、原作者で直木賞作家の三浦しをんさんと監督の矢口史靖さんを鈴木英敬知事と一緒に訪ね、原作本の話や映画の撮影秘話などをお伺いしました。

市長 県政だよりみえと市町の広報紙のタイアップ企画というのは、初めてのことですね。

知事 そうですね。4月から県政だよりみえはデータ放送に変わります。その第1回目の企画にもなりますので、とても記念になります。

市長 いよいよ5月10日に映画が公開になります。まずは、原作者の三浦さん、「ウッジョブ!」をご覧になった感想はいかがでしたか。

三浦 とても楽しい映画でした。津市をはじめ、三重県の風景がたくさん映っていて、山もすごくきれいで、そして楽しい暮らしが描かれていて、感激しました。

市長 矢口監督いかがですか。

矢口 とてもうれしいですね。これまでの映画は全てオリジナルだったんですが、「神去なあなあ日常」(徳間書店刊)を読んで、ぜひ映画化してみたいと思い、お願いをしました。小説の舞台自体が美杉町をメインにした景色から発想されていたので、美杉の景色なしには撮れないだろうということで、津市の美杉町をメインに全面的に撮影



三浦 しをん(みうら しをん)さん

東京都出身。作家。2000年、書き下ろし長編小説「格闘する者に〇」でデビュー。2006年「まほろ駅前多田便利軒」で直木賞を受賞。2012年には、「舟を編む」で本屋大賞を受賞。「神去なあなあ日常」の続編に「神去なあなあ夜話」がある。